



支部通常総会

2025年4月18日(金) 早稲田大学及び ZOOM による WEB ミーティング(出席者53 名/代議員76名)

主な議事 2025年度事業報告・収支報告
2026年度事業計画・収支予算(案)

理事会

理事会を5回開催した。

- 2025年4月18日(金) ハイブリット開催 (出席者 42名)
- 2025年6月23日(月) ハイブリット開催 (出席者 35名)
- 2025年8月25日(月) ハイブリット開催 (出席者 40名)
- 2025年12月12日(金) ハイブリット開催 (出席者35名)
- 2026年2月20日(金) ハイブリット開催 (出席者40名)

第36回加山記念講演

日時: 2025年4月18日(金) 15:30~17:00

会場: 早稲田大学及びオンラインのハイブリッド形式

講演題目: 「鑄物・ダイカストに魅せられてーそれはバラ状黒鉛鑄鉄から始まったー」

講師: ものつくり大学 西 直美 氏

支部講演会

本年度は支部講演会を2回開催した。

(1) 第115回支部講演会「現場鑄造技術の改善」(出席者 56名)

日時: 2025年8月25日(月) 15:00~16:35

会場: 早稲田大学西早稲田キャンパス及びオンラインのハイブリッド形式

- ① クラッチハウジング 鑄造生産性向上 テクノメタル(株) 栗城 美咲 氏
- ② A車用デフケース中子不良率低減
～固定観念を捨てる! ベテラン層の知識を活かした若手のヒラメキ改善～
日産自動車(株) 戸野塚 博希 氏
- ③ 造型マニピレータの遠隔操作化に向けて 日野自動車(株) 木ノ脇 慎平 氏

(2) 第116回支部講演会「第11回関東支部学生講演」(出席者 42名)

日時: 2025年12月12日(金) 15:00~17:20

場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス及びオンラインのハイブリッド形式

- ① 熔融系アルミナ人工砂の生型を用いた鋳鉄鋳造時の冷却過程における型拘束力と鋳物反り変形量の連続的測定
早稲田大学大学 創造理工学研究科 齋藤 太智 氏
- ② 鋳鉄とアルミニウムの流動性可視化実験と粒子法解析の比較
早稲田大学大学 創造理工学研究科 岸 潤也 氏
- ③ 注湯プロセスにおける熔融金属を対象とした視力覚統合フィードバック制御
青山学院大学 工学部機械創造工学科 山本 稀 氏
- ④ AC7A 合金双ロール鋳造板の表面模様及ぼすノズル先端形状の影響
東京電機大学 理工学研究科 井上 晏花 氏
- ⑤ 双ロール鋳造を用いて作製した発泡剤シートの界面添加による A1050/ss400接合体の分離及び再接合
群馬大学大学院 山本 凌雅 氏
- ⑥ 双ロール鋳造で作製した薄型発泡剤シートを用いた銅/アルミニウム接合体の界面発泡による易分離
群馬大学大学院 仲原 大河 氏

現場鑄造技術研究会

本年度は研究会を2回、工場見学会を1回開催した。この中で会員会社による事例発表を8件実施と特別講演を1件実施した。

(1) 第159回研究会:2025年8月22日 早稲田大学各務記念材料技術研究所

- | | |
|---|----------------|
| ① 特別講演 「道具としてのロボット活用について」 | 山梨大学 教授 野田 善之 |
| ② 人工砂とフェノールウレタン樹脂による造型生産性改善の取り組み | 錦正工業(株) 石塚 達也 |
| ③ 反転排砂中子における戻り砂の影響調査 | (株)トウチュウ 中野 寿行 |
| ④ 球状黒鉛鑄鉄における Mg フェーディング量の低減と球状化剤使用量の最適化 | (株)真岡製作所 石川 洸 |

(2) 第160回研究会:2025年11月20-21日

- ① (株)クボタ恩加島事業センター工場見学
- ② 日本ルツボ(株)工場見学



(3) 第161回研究会:2026年3月6日 早稲田大学各務記念材料技術研究所

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| ① キュポラから電気炉への溶解工程変更について | 日本鑄鉄管(株) 西山 真末 氏 |
| ② 4気筒シリンダーブロック塗型溜まり不良の削減 | グローバルコンポーネントテクノロジー (株)上野 洋 氏 |
| ③ 小型鋸盤による鑄鉄組織観察試料作製作業の効率化 | (株)未来キャスティングホールディングス 渡邊 博之 氏 |
| ④ 環境の見える化ツールによる鑄造現場の環境改善事例 | (株)IJTT 三上 友利 氏 |
| ⑤ 環境と従業員の健康と安全を守る水質検査 | 平成理研(株) 大内 充 氏 (株)瓢屋 黒崎 哲生 氏 |

YFE 企画委員会

本年度は、子供いもの教室および施設見学会を開催した。また、全支部会員および鑄造技士へも参加を呼びかけ、鑄造 CAE と技術者倫理に関する YFE 勉強会を3/12に開催した。

(1) 子供いもの教室

開催日： 2025年7月19日(土)9:30～16:00 午前・午後の2部制

内容： スズ合金を用いた箸置き、キャラクターサンプルの作製

世田谷区立尾山台小学校(合計参加者:小学生30名および保護者、教員の方々)



(2) 施設見学会

開催日： 2026年1月15日(木)13:00～16:30

内容： NIMS: クリープ試験機群、溶解圧延設備群、1500t 鍛造シミュレータ、3D プリンター
地質標本館

AIST-Cube: 産業技術の実証試験等

(3) YFE 勉強会「CAE の超基礎と、技術者倫理」

開催日： 2026年3月12日(木) 14:00～15:50

CAE のブラックボックスをのぞく ～鑄造解析の正体と超基礎～

元 東北大学 平田 直哉

リーダーの技術者倫理

(一社)日本ダイカスト協会 金内 良夫

(Web 開催による. 参加者:136名)



広報委員会

- (1) 関東支部 HP を CMS サイト移行し、新 HP を開設した。
- (2) HP に、行事予定、各種会告(加山記念講演、支部講演会、YFE 見学会等)などのお知らせや報告をタイムリーに掲載した。(8件/10ヶ月)
- (3) HP のお問合せフォームにて問い合わせのあった1件につき個別に対応した。
- (4) 昨年度定例会化した広報委員会を必要に応じて開催した。(2回/10ヶ月)
- (5) 現場改善事例に関しては、研究部会での発表案件他、各所への投稿を依頼し、6件の了解を得て本部へ推薦した。
- (6) 2025年度支部活動のまとめとして「No.42支部だより」を3月に発行、HP へ掲載する。

人材育成委員会

(一社)日本鑄造協会主催の関東地区「鑄造カレッジ」及び「鑄造入門講座」への講師の派遣、インターンシップ及び工場見学会の運営を計画支援した。

今年度は6月13日(金)に開講、全30コマ(10日間)の内、対面講義6日、東京機械振興会館会議室で4日、川口鑄物工業協同組合で2日開催、残りの12コマ(4日間)を Web で開催した。Web 講義は東海地区、中国四国地区と3地区合同となった。関東の受講生は鑄鉄コース23名、鑄鋼コース4名計27名であった。27名は23歳から51歳、平均年齢32歳という若いメンバーで、これからの鑄造業界を背負っていく期待すべき人材である。内訳は埼玉5名、茨城、新潟、静岡各4名、長野、青森、北海道各2名、その他東京、福島、栃木、富山と全国区にわたっている。

インターンシップは9月8日からものつくり大学で岡根教授のもと開催した。

工場見学は2026年1月30日(金)に昭和電気鑄鋼株式会社と(株)木村鑄造所群馬製作所及び群馬 FM 工場を訪問した。翌1月31日に機械振興会館会議室で GD を実施し、結果の発表および各自今後の抱負を述べ、全過程を無事終了した。

企画運営委員会

委員会を5回開催し、以下の審議・立案を行った。

- (1) 第186回全国講演大会実行計画案の検討
- (2) 次期支部運営体制の検討
2026-27年度支部役員および運営体制
本部理事及び監事候補選出
- (3) 表彰
 - 日本鑄造工学会表彰(7賞)の関東支部推薦候補者の立案
 - 支部表彰の候補者立案.
- (4) その他
 - 支部総会資料の確認
 - 支部運営マニュアルおよび大会運営マニュアルの確認